

トライアスロン

女 子

①ダフィー(バミューダ)	1時間55分36秒
②テラーブラウン(英 国)	1時間56分50秒
③ザファーズ(米 国)	1時間57分3秒
⑬高橋 侑子(富 士 通)	2時間1分18秒

一岸本 新菜
(福井県スポーツ協会・稲毛インター) 途中棄権

バミューダ諸島初の金

＜女子＞4回目の出場の33歳ダフィーが、英領バミューダ諸島初の金メダルを獲得した。2種目目のバイクをトップ集団で終えると、最後のランで突き放した。東京五輪に出場するバミューダ諸島の選手は、ダフィーを含めて2人。過去の五輪のメダルも、1976年モントリオール大会のボクシング・ヘビー級の銅メダルだけだった。

「母国の若者に、小さな国の出身の選手でもメダルが獲れると背中を押せた」と国旗を体に巻いた。

◇**フロラ・ダフィー** (バミューダ＝トライアスロン女子) 7歳で競技を開始した。リオデジャネイロ五輪では8位だった。33歳。

高橋初五輪も18位…

＜女子＞最後の足取りは重く、高橋は入賞を逃した。8番手で10キロのランに入り、1周ごとに約1分ずつ遅れて18位。「精いっぱい力は出したが、理想的な結果にはならなかった」と目に涙を浮かべた。前回リオデジャネイロ五輪代表落選を機に、日本を離れて米国、ポルトガルと練習拠点を移した。世界トップ選手との合同練習で、国際大会でも上位に顔を出す地力をつけた。5年間の思いを込めて臨んだ初の五輪。「いい経験をさせてもらった」と顔を上げた。岸本はバイクで落車し、途中棄権した。



トライアスロン女子の試合開始前、ウェアやタオルを身につけたままスイムのスタートを待つ選手たち



トライアスロン

低い気温・強い風雨 台風も難敵

トライアスロン女子は台風8号の接近に伴う悪天候によって、当初の予定より15分遅れてスタートした。

会場となった東京・お台場海浜公園の周辺は強い雨や風に見舞われた。午前6時45分のスタート時の気温は、男子が開催された前日より4度低い22.7度。競技開始が遅れたことで、選手たちはタオルをかぶって待機するなど体が冷えないように対策をしていた。

日本勢は高橋侑子が2時間1分18秒の18位、岸本新菜はバイクの序盤で落車し、棄権となった。高橋はバイクを終えた段階で8位まで順位を上げたが、最後のランで粘れなかった。

高橋は猛暑の東京を想定し、ストロブを部屋に入れて「ヒートルーム」をつくって練習してきた。だが、本番はゴール後でも気温25度。予想以上に涼しい環境となり、「ここ2、3年は暑熱対策をしてきたが、全然違う天候になってしまった」と苦笑いした。

一方、雨でぬれた路面などを考慮してタイヤの空気圧を下げるなどの対策をしてきたといい、「トライアスロンは自然を相手にする競技。今までも雨や風が強いレースを経験しているのだから、そこは冷静に対応できた」。